

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2002-10085(P2002-10085A)

【公開日】平成14年1月11日(2002.1.11)

【出願番号】特願2001-121252(P2001-121252)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 1/41

G 06 T 5/00

H 04 N 1/405

H 04 N 7/30

【F I】

H 04 N 1/41 B

G 06 T 5/00 1 0 0

H 04 N 1/40 B

H 04 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空間画像データを変換して周波数領域の第1の基底係数セットを生成するステップと、あらかじめ決定されたハーフトーン・テクスチャの周波数領域変換に対応する第2の基底係数セットを前記第1の基底係数セットと結合するステップと、を含む画像処理方法。

【請求項2】

前記結合された係数を用いて逆変換を適用してハーフトーン化された空間画像データを生成するステップを更に含む、請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項3】

空間画像データを変換する前記ステップが、離散型コサイン変換、離散型サイン変換およびフーリエ変換から選択される1つの変換を実行するステップを含む、請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項4】

前記結合された基底係数を量子化するステップを更に含む、請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項5】

前記画像データを圧縮するため前記結合および量子化された基底係数をエントロピ符号化するステップを更に含む、請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項6】

画像を走査してデジタル化された空間画像データを生成するステップと、前記デジタル化されたデータを複数のブロックに分割するステップと、選択された1つのブロックに対して前方変換を実行してソース画像基底係数を生成するステップと、あらかじめ決定された空間ハーフトーン・テクスチャの前方変換に対応するハーフトーン基底係数を前記選択されたブロックのソース画像基底係数と結合するステップと、を含む画像処理方法。

【請求項7】

前記結合された係数を用いて逆変換を適用してハーフトーン化された空間画像を生成するステップを更に含む、請求項 6 に記載の画像処理方法。

【請求項 8】

前方変換を実行する前記ステップが、離散型コサイン変換、離散型サイン変換およびフーリエ変換から選択される 1 つの変換を実行するステップを含む、請求項 6 に記載の画像処理方法。

【請求項 9】

前記結合された基底係数を量子化するステップを更に含む、請求項 6 に記載の画像処理方法。

【請求項 10】

前記複数のブロックの各々に関して、前方変換を実行してソース画像基底係数を生成する前記ステップおよび基底係数を結合する前記ステップを反復するステップを更に含む、請求項 6 に記載の画像処理方法。